

従業員向け講習会を開催

ACTIVE KUMIAI

山梨県一般廃棄物協会

一般社団法人山梨県一般廃棄物協会(会長 北杜市環境事業協同組合 篠原充理事)では2月2日に、会員事業者で廃棄物の収集運搬業務に携わっている従業員を対象に講習会を開催した。

この講習会には34名が参加し、業務上必要となる車両の運行上の安全対策と労働災害に防止に関する講義を2時間半にわたって受けた。

「車両の運行管理上の安全対策」の講習では、独立行政法人自動車事故対策機構の石川智博先生が講師となり、認知・判断・操作という自動車運転のメカニズムと見誤り・思い込み・過信・疲労といった人間の起こしやすいミスから事故に至った「真因」を探ることで事故防止につなげていく取り組みについて説明があった。

また、「一般廃棄物処理業務における労働災害防止」の講習では、特定社会保険労務士の加藤里美先生が講師となり、労働災害の現状と防止策について説明があった。特に労働災害防止については、出席者がグループに分かれて「KY(危険予知)活動」を職場で取り入れるための実習も行った。



KY(危険予知)活動の実習発表

篠原会長は、「近年、一般廃棄物処理業界にも法規制を守らない(知らない)異業種事業者の参入が横行している。協会として一般廃棄物処理の作業実務に関する講習をテーマと内容を変えながら継続して行うことで、会員事業所の業務の効率化と従業員の資質向上を図り、一般廃棄物処理業界の適正化をリードしていきたい。」と語った。



運行管理講習の石川先生